

塩竈市個別避難計画【記入例】

(様式第1号)

■災害への備えと個人情報使用の同意について

No.

作成日:令和4年12月1日

災害発生時に地域の支援者と安全に避難できるよう、「私に必要なこと」を理解してもらうため、私に関する情報を関係機関・者と共有することに同意します。				事業所名	〇〇〇〇〇〇			
				作成者・電話	高齢 福子 /022-000-0000			
ふりがな	しお がまお		血液型	0 型	自治会	しおがま〇〇町内会		
氏名 (自署)	塩 竈男		性別	男	生年月日 (年齢)	昭和15年11月30日 82歳		
住所	塩竈市本町1番1号				電話番号	022-000-0000(携帯電話 080-0000-0000)		
家族構成	☐ ひとり暮らし	☒ 同居家族あり (2人)※本人含			備考	日中は娘が仕事に行くため一人		
障害者手帳	☐ 身体障害者 _____級		要介護 認定等	(要介護) (要支援) 事業対象者	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 4 ☐ 5			
	☐ 療育 _____級				☐ 1 ☒ 2			
	☐ 精神障害者保健福祉 _____級				☐			
緊急連絡先 (家族等)	氏名	塩 竈子	続柄	娘	連絡先	022-111-1111(職場)	備考	職場:〇〇店 (仙台)
	氏名	山田 釜男	続柄	義弟	連絡先	080-1111-1111	備考	市内在住 (石堂)
かかりつけ医療機関	名称	塩竈市立病院		連絡先	022-364-5521	携行する医薬品	高血圧症の薬(内服薬)、白内障の点眼薬	
病名	① 高血圧症		② 白内障		③			

※避難誘導時の留意事項(例:車イスを押す、荷物を持つ・避難所で必要な支援など)

必要な支援 (避難時)	・白内障のため目が見えづらい。特に夜道や暗い場所は見えづらいため、付き添いが必要。 ・耳が遠いため防災無線が聞こえない可能性がある。災害時は直接声をかけてほしい。							
必要な支援 (避難所生活)	・重いものが持てないため手助けが必要。 ・寒さに弱いため、体が冷えないように ・排尿間隔が短いため、トイレから近い場所が良い。							
避難支援者	氏名	佐藤 竈彦	区分	隣人	連絡先	022-222-2222	備考	
	氏名	〇〇町内会の方	区分	町内会	連絡先	090-000-0000 (町内会長携帯)	備考	避難の際は町内会の方 たちが支援します

避難のための「マイ・タイムライン」の確認

■住まいに起こりうる災害は…ハザードマップで確認

☐ 住まい	建築時期	昭和 57 年	構造	木造二階建て	☒ 戸建住宅	☐ 集合住宅 (階)
☐ 洪水	洪水浸水想定区域外	浸水深		メートル	河川名	
☐ 土砂災害	土砂災害警戒区域外		☒ 津波	標高	1～3 メートルライン	

■どこに避難しますか(最寄りの避難所等) ①

■ 避難先	本町公民館	距離	0.4 km	手段	徒歩	移動時間	13 分
⇒ ☒ 避難先までの避難経路をハザードマップ、もしくは地域が作成する防災マップ等で確認							
☐ 自宅の浸水しない場所(2 階以上など)				☒ 手助けが必要		☐ 手助け不要	

■ペットを飼っていますか

■避難準備にかかる時間は ②

☒ はい	種別	小型犬 ポメラニアン	☐ いいえ
⇒ ☐ 一緒に避難する ☒ 知人らに預ける (義弟の山田さん宅)			

■家族らへの連絡	1	分
■持ち出し品の準備	5	分
■家の戸締り	1	分

→ 注)裏面もあります

【避難先への避難にかかる時間 ① + ②】 計 20 分

塩竈市個別避難計画【記入例】

(様式第 1 号)

自由記述欄

- ※ その他、支援に必要な事項があれば、こちらに記載してください。
(例: 本人が不在で連絡が取れないときの対応 など)
- ・非常用持ち出し袋(黄色いリュック)は玄関の靴箱の中
 - ・薬は 2 階の台所のテーブルの上にまとめてある
 - ・夜間は娘が在宅 一緒に避難する
 - ・徒歩での避難は可能だが、坂を登るときは時間がかかる
 - ・津波避難の際、避難まで時間がない時は津波避難ビルのグランドパレス塩釜に避難
さらに間に合わないときは自宅の二階に避難
 - ・インターホンが壊れているため、声をかける際は家の中まで来てほしい

地図、図面等の貼付・記載欄

- ※ 避難経路図や居所の見取り図など地図等を貼付・記載する場合はこちらをご活用ください。
- 自宅から本町公民館までの避難経路



○ 居所の見取り図

- ・本人は基本的に1階のリビングか寝室にいる
- ・夜間は娘も在宅。二階にいる
- ・犬はリビングにいる

